

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 130029

成人看護方法論Ⅲ Adult Nursing Ⅲ

担当教員	村井嘉子、紺家千津子、				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、健康機能障害、不適応反応、機能障害のアセスメント、情報の統合、看護問題の特定、看護援助方法				
学習目的・目標	<p><目的> 成人期における人間の健康機能障害をアセスメントし、看護上の問題を確定した上で看護実践の基本となる実践的思考プロセスを学修する。</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none">1.成人期に生じる脳神経機能障害、身体防御機能障害、および物質、化学的因子による健康障害の原因・要因について述べるができる。2.成人期に生じる脳神経機能障害、身体防御機能障害、および物質、化学的因子による健康障害がある患者の日常生活における影響について述べるができる。3.成人期に生じる脳神経機能障害、身体防御機能障害、および物質、化学的因子による健康障害がある患者のアセスメントの視点を述べるができる。4.事例を通して各機能障害における看護上の問題を取り出し、確定することができる。5.事例を通して具体的な援助の方法について述べるができる。				
授業計画・内容					
回	内容				
事前準備	※各機能に関連する解剖・生理学、疾病障害論等について復習の上、受講する。 ※各機能障害に関する事前課題が提示されるので、それを実施の上、受講する。				
1-3	・本授業のガイダンス ・脳神経機能に障害をもった患者のアセスメント ・脳神経機能に障害をもった患者の看護問題の理解と援助方法				
4-5	・身体防御機能に障害をもった患者のアセスメント ・身体防御機能に障害をもった患者の看護問題の理解と援助方法				
6-7	・物質、化学的因子による健康障害をもった患者のアセスメント ・物質、化学的因子による健康障害をもった患者の看護問題の理解と援助方法				
8	・本授業のまとめ				
教科書	疾病・障害論で使用したテキスト 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学7、11				
参考図書等	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 看護学大辞典 第6版（電子版）メジカルフレンド社				
評価指標	講義の2/3以上の出席がなければ、試験は受験できず評価の対象にはならない 授業時間内に指示されるアセスメントレポート20%、最終筆記試験80%				
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病・障害論ⅡA・ⅡB・ⅡC等				
教員から学生へのメッセージ	成人看護学で学ぶ内容は広範囲です。疾病障害論や病態学で学んだことを想起・振り返りながら学習してください。教科書や参考図書を読むだけでは実力はつきませんから、じっくり考え時間を掛けた学習をしてください。看護は人間の健康生活に即して考えることです。じっくり考える学習習慣ができると看護がおもしろくなります。				